

平成15年1月30日  
国土交通省鉄道局

平成14年度補正予算に係る鉄道関係公共事業  
の事業評価結果及び概要について  
(財務省実施計画承認時点)

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、新規採択時評価を実施していますが、平成14年度補正予算において、新たに事業費を予算化する事業について評価を行い、その評価結果及び採択箇所等を、評価手法等とともに公表しますのでお知らせします。

新規箇所数総括表

事業	新規箇所数
補助事業	16
都市・幹線鉄道整備事業	16
合計	16

【問い合わせ先】

鉄道局財務課	課長補佐 渡邊 (内線40532) 直通03-5253-8538
業務課	課長補佐 横田 (内線40622) 直通03-5253-8542
鉄道企画室	課長補佐 黒須 (内線40172) 直通03-5253-8526

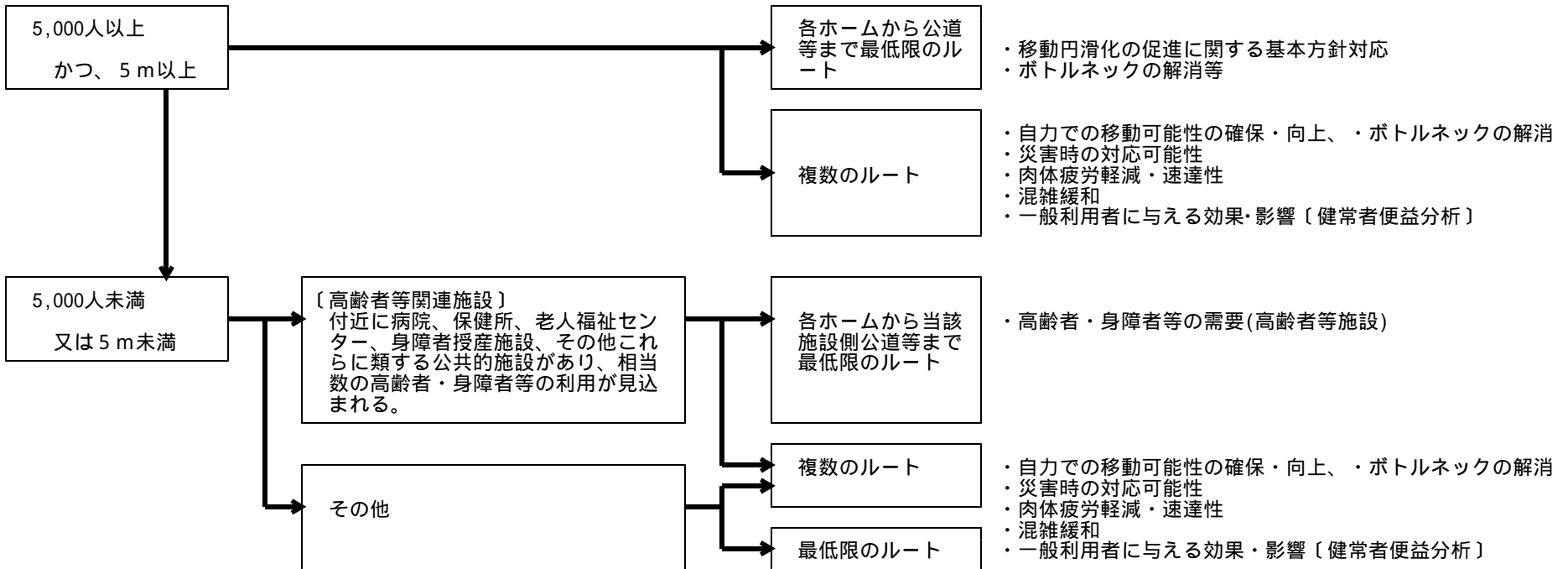
# バリアフリー施設整備の評価手法について

バリアフリー施設整備については、高齢者、身体障害者等の移動制約者の移動可能性を確保しようとするものであることから、「鉄道プロジェクト費用対効果分析マニュアル99補足版」に基づき、社会経済的効率性の観点から評価する費用便益分析ではなく、以下にある定性的評価項目により評価を行っているところです。

## バリアフリー施設整備の定性的評価の流れ

〔エスカレータ、エレベータの整備〕

【定性評価項目】



〔点字ブロックその他の整備〕

- ・自力での移動可能性の確保・向上
- ・安全性確保
- ・安心感の確保

【新規採択時評価】

都市・幹線鉄道整備事業（鉄道駅総合改善事業（鉄道駅移動円滑化施設整備事業））

事業箇所	事業内容	総事業費 （百万円）	事業主体	事業期間	評 価
阪急電鉄 ・ 阪急京都線（上牧駅）	エレベーター（1基） エスカレーター（2基） 身障者用トイレ 通路増床	820	エコロジー・モ ビリティ財団	平成14～ 17年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移動円滑化の促進に関する基本方針対応</li> <li>・ 高齢者、身体障害者等の移動可能性に係るボトルネックの解消</li> <li>・ 自力での移動可能性の確保</li> <li>・ 肉体疲労軽減</li> <li>・ 安心感の確保</li> </ul>

エレベーター、エスカレーター等のバリアフリー施設の整備については、高齢者、身体障害者等の移動制約者の移動可能性を確保しようとするものであり、社会経済的効率性の観点から評価する費用便益分析ではなく、上記のような定性的評価を行うこととしている。

【新規採択時評価】

都市・幹線鉄道整備事業（地下高速鉄道整備事業（大規模改良工事））

事業箇所	事業内容	総事業費 (百万円)	事業主体	事業期間	評 価
営団地下鉄 ・銀座線（新橋駅）	エレベーター（2基）	300	帝都高速度 交通営団	平成14～ 16年度	・移動円滑化の促進に関する基本方針対応 ・高齢者、身体障害者等の移動可能性に係るボトルネックの解消 ・自力での移動可能性 ・肉体疲労軽減
営団地下鉄 ・日比谷線（小伝馬町駅）	エレベーター（1基）	350	帝都高速度 交通営団	平成14～ 16年度	同 上
営団地下鉄 ・日比谷線（八丁堀駅）	エレベーター（1基）	200	帝都高速度 交通営団	平成14～ 16年度	同 上
営団地下鉄 ・東西線（飯田橋駅）	エレベーター（1基）	100	帝都高速度 交通営団	平成14～ 16年度	同 上
営団地下鉄 ・東西線（茅場町駅）	エレベーター（1基）	100	帝都高速度 交通営団	平成14～ 16年度	同 上
営団地下鉄 ・千代田線（綾瀬駅）	エレベーター（1基）	100	帝都高速度 交通営団	平成14～ 16年度	同 上

事業箇所	事業内容	総事業費 (百万円)	事業主体	事業期間	評 価
営団地下鉄 ・千代田線(二重橋前駅)	エレベーター(1基)	150	帝都高速度 交通営団	平成14～ 16年度	同 上
営団地下鉄 ・千代田線(北千住駅)	エスカレーター(1基)	100	帝都高速度 交通営団	平成14～ 16年度	同 上
営団地下鉄 ・有楽町線(小竹向原駅)	エレベーター(1基)	200	帝都高速度 交通営団	平成14～ 16年度	同 上
営団地下鉄 ・有楽町線(江戸川橋駅)	エレベーター(1基)	200	帝都高速度 交通営団	平成14～ 16年度	同 上
営団地下鉄 ・有楽町線(有楽町駅)	エレベーター(1基)	100	帝都高速度 交通営団	平成14～ 16年度	同 上
営団地下鉄 ・半蔵門線(渋谷駅)	エレベーター(2基) エスカレーター(1基)	400	帝都高速度 交通営団	平成14～ 16年度	同 上
営団地下鉄 ・南北線(王子駅)	エスカレーター(1基)	100	帝都高速度 交通営団	平成14～ 16年度	同 上

事業箇所	事業内容	総事業費 (百万円)	事業主体	事業期間	評価
営団地下鉄 ・丸ノ内線(方南町駅 他3駅)	転落防止柵	980	帝都高速度 交通営団	平成14～ 16年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動円滑化の促進に関する基本方針対応</li> <li>・自力での移動可能性</li> <li>・安全性確保</li> <li>・安心感の確保</li> </ul>
福岡市交通局 ・1号線(姪浜駅 他12駅)	転落防止柵	2,301	福岡市	平成14～ 16年度	同上

エレベーター、エスカレーター、転落防止柵等のバリアフリー施設の整備については、高齢者、身体障害者等の移動制約者の移動可能性を確保しようとするものであり、社会経済的効率性の観点から評価する費用便益分析ではなく、上記のような定性的評価を行うこととしている。